

美郷大使 メッセージ

美郷町の魅力の発信や、町づくりへの提言をいただくことを目的に、美術評論家の高階秀爾さん、北都銀行取締役会長の町田睿さん、日本学士院会員の佐々木毅さん、絵本作家の永田萌さんの4名に美郷大使を委嘱しています。このたび、美郷大使である永田萌さんからメッセージをいただきましたので、ご紹介します。

いつでも帰りたい場所

ながた
永田

もえ
萌



美郷大使

永田 萌さん

昭和24年、兵庫県生まれ。絵本作家。花と妖精をテーマとした夢あふれる作風で、絵本やエッセイなど140冊を超える著書出版。平成21年には美郷町学友館で特別展を開催、合併5周年記念式典では記念講演を行うなど美郷町とのゆかりも深い。元兵庫県教育委員会委員長。京都府在住。

遠くにいる友人達を思う時、その地の天気が気になる。私の住む京都が晴れていても、南北に長い日本はずいぶん天気に違いがある。そんな訳でわたしはよく秋田県の日をチェックする。もちろん美郷町周辺だ。美郷大使も仰せつかり、仲良しの人も年々増えて、地理上の距離は遠くても心の距離はこんなにも近い。美郷大使だと自己紹介すると、聞いた人はほとんど「故郷ですか?」と言う。「違いますよ」と答えるが内心「ここ数年、出かけている回数は本当の故郷より多いかもしれない」と思っている。

そもそもは文化庁の視察で六郷の湧水を見に行ったのがきっかけなのだが、そんな町は他にもいっぱいある。どこも印象に残る美しい風景だったが、ほとんどはそれきりになっている。ではどうして美郷町だけが特別なのだろうか? 答えは簡単だ。美郷町の人が好きなのだ。これまでおとなから子どもまでたくさんの人に会ったが、どの人も秋田県民の美徳のシャイで優しく誠実な

人柄の方が多かった。訪れるたびに友達が増える。わたしは折あるごとにそう申し上げるのだが、なにしろみなさん秋田の方々だから「いえいえそんなことは」と謙遜されるばかりだ。何かという声高に自己主張して、前へ前へと出たがる人の多い関西育ちのわたしには、いかにもその氣質が好ましい。

だが、旅人がまた訪れたいと思う町に住む人は、案外その素晴らしさに気がつかないことが多い。みなさんがあたりまえに思っているおいしい野菜も果物もお酒も水も風景も、本当に特別なもの。どうぞ大切に守ってください。美郷町を実際の故郷として、今は遠くにいる人たちや、わたしのように北の第二の故郷と想っている者にも、その良さを失わず、いつでも「帰りたい場所」であってください。

と、そんなことを考えながら今朝も天気予報を見ていた。今日は晴れているようだ。竹うちも終わり、雪が少しずつ解けていく早春の美郷町の美しさが目に浮かぶ。

平成26年4月から

施設の名称と
管理運営体制が
変わります

- ・もとだて児童館
- ・いきいき館
- ・ふれあいセンター
- ・六郷東根コミュニティセンター

町では、平成26年4月1日から、美郷町公共施設再編計画で地域コミュニティセンターに転用するとしていた「もとだて児童館」「いきいき館」「ふれあいセンター」の名称を変更するとともに、六郷東根コミュニティセンターを含めた管理運営体制を次のように変更します。なお、施設の使用時間、休館日等に変更はありませんので、これまでどおり多くの皆さまのご使用をお願いします。

■施設の名称

平成26年3月31日まで
美郷町もとだて児童館
美郷町いきいき館
美郷町六郷東根コミュニティセンター
美郷町ふれあいセンター



平成26年4月1日から
美郷町本館コミュニティセンター
美郷町鑓田コミュニティセンター
(変更なし)美郷町六郷東根コミュニティセンター
美郷町住民活動センター

■施設の使用申込・使用料金

施設名	平成26年3月31日まで	
	申し込み	使用料
もとだて児童館 (本館コミュニティセンター)	福祉保健課	有料
いきいき館 (鑓田コミュニティセンター)	中央ふれあい館	
六郷東根 コミュニティセンター	学友館	
ふれあいセンター (住民活動センター)	ふれあいセンター 北ふれあい館	



平成26年4月1日から		
申し込み	使用料	
申込先●佐藤 ケイ子さん 住 所●美郷町六郷字八幡 105番地(佐藤商店) 電 話●84-1068	無料	
申込先●藤井 伊三郎さん 住 所●美郷町鑓田字庚塚 1番地3 電 話●84-0063		
申込先●藤原 一男さん 住 所●美郷町六郷東根字鑑ヶ崎 102番地2 電 話●84-3362		
申込先●住民活動センター 住 所●美郷町畑屋字街道東 144番地 電 話●86-7899		